

科目	簿記	単位数	3単位	学年	第2学年	講座	
教科書	新簿記 新訂版（実教出版）		副教材等	標準検定簿記問題集3級（とうほう）			

学習目標	1 企業における取引の記録・計算・整理に関する知識や技術を習得する。 2 簿記の基本的な仕組みについて理解する。 3 ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力や態度を身に付ける。
------	--

評価の観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
	簿記に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、適正な会計処理を行うことを合理的に計画し、その技術を適切に活用しているか。	適正な会計処理を行うことを目指し、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けているか。	簿記について関心をもち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、会計処理を行う実践的な態度を身に付けているか。

時期	学習計画及び内容		評価方法
1 学 期	4月	第1編 簿記の基礎 ・簿記の意味・目的、役立ちなどを理解させ、 学習の心構えを養う。 ・資産・負債・純資産・収益・費用のそれぞれの意味と種類を理解する。 ・貸借対照表と損益計算書の作成方法を習得する。 ・取引の記帳、仕訳と総勘定元帳の記入方法を習得する。 ・貸借平均の原理を理解する。	第1回考査
	5月		
	6月		第2回考査
	7月		
2 学 期	8月	第2編 取引の記帳と決算Ⅰ ・現金、当座預金、その他の預金の意味を理解する。 ・3分法による商品売買益の計算法と記帳法を習得する。 ・第2編で学習したいろいろな勘定科目の意味を理解し、正しい仕訳ができるようにする。	第3回考査
	9月		
	10月		第4回考査
	11月		
12月			
3 学 期	1月	第3編 決算（その1） 第4編 会計帳簿と帳簿組織 ・決算整理の意味を理解する。 ・8桁精算表の意味と作成方法を習得する。 ・帳簿の種類と、帳簿組織およびそれらと分課制度との関係、帳簿種類の立案について理解する。 ・普通の売買取引と対比させながら、それぞれの取引の特徴を十分理解させる。	第5回考査 （3年1月） （1、2年3月）
	2月		
	3月		

学習 個人商店において日常発生する取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解する。また、帳簿や財務諸表を通して、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度のを身に付ける。副教材の問題集を活用して、基礎的、基本的事項について十分な記帳練習を重ねてください。とりわけ複式簿記の原理を完全に理解をすることが大切である。また、来年の1月に全商簿記実務検定を受験することを目標にして、資格取得にも積極的に取り組むこと。

備考 3つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習内容のまとめりにごとに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。